

2015年度前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築設備の基礎						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース、建築コース)／選択必修科目(デザインコース)						
担当者	齋藤健二						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築技術者として地球環境保護の必要性とそのための役割について理解し、説明できる。(A5)</li> <li>・建築設備工学の全体像と役割、基本的知識を理解し、説明できる。(B3)</li> <li>・建物の快適室内環境を実現するための基礎的な技術手法を理解し、説明できる。(B3)</li> <li>・基礎的な設備設計の計算ができる。(B3)</li> </ul>						
日程と内容	4/10 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/17 建築設備の役割、地球温暖化防止について 4/24 給排水衛生設備の概要、用途別給水量、器具の必要圧力 5/1 各種給水方式、給水量の算定 5/8 給水負荷単位、流量線図、給水管径の求め方 5/15 給水管径の求め方 5/22 給湯設備の概要、 5/29 衛生器具、演習1 6/5 排水通気設備の概要 6/12 ガス設備、防災設備 6/19 空気調和の概要 6/26 空気調和の方式、単一ダクト方式、変風量方式 7/3 空気線図の使い方、湿度の表し方 7/10 冷暖房負荷計算の概要、演習2、授業評価アンケート 7/17 定期試験(60分) 7/24 定期試験の解説						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築技術者として地球環境保護の必要性とそのための役割について理解し、説明できる。:達成した。</li> <li>・建築設備工学の全体像と役割、基本的知識を理解し、説明できる。:達成した。</li> <li>・建物の快適室内環境を実現するための基礎的な技術手法を理解し、説明できる。:達成した。</li> <li>・基礎的な設備設計の計算ができる。:達成した。</li> </ul>						
反省点	定期試験は授業中の演習問題を中心に出している。演習問題はよく出来ているのに定期試験の成績が悪い学生が多い。授業内容を確実に理解していないのが原因であると思われるので、毎回の授業において小テストを多く実施すべきであった。						
来年度の計画	私の授業は今年度で終了である。地球環境保護の観点から建築設備の重要性は益々大きくなっている。学生にはこの点を理解し、興味をもって授業に臨んでほしい。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業でマイクの音が聞き取りにくいとの指摘が多かった。口をマイクに近づけすぎて音が割れたものと思われる。この点については反省している。ただ、1208教室のマイクは教壇上では電波が届かず、声が大きにならない。この点は事務部門に改善をお願いした。						
履修登録者数	70名	定期試験受験者数	65名	合格者数	64名	合格率	98%